

令和2年度

事務事業評価表(令和元年度の実績評価)

記入年月日 令和2年4月20日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法根拠. Includes details for '医療費助成事業' and '社会保険制度の健全運営'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要, ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Contains detailed descriptions of the medical cost support program.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図 and various performance indicators (e.g., 医療費助成件数, 医療費助成金額) across fiscal years.

Table with columns for (3) 投入量(事業費)の推移, showing financial data like 国庫支出金, 県支出金, and 事業費計(A) across fiscal years.

Table comparing 01年度事業費実績 and 02年度事業費予算 across various cost categories like 11 需用費, 12 役務費, etc.

事務事業名	医療費助成事業	事務事業No.	10704000381	所属課	国保年金課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和48年4月、乳児・身体障害者を対象に経済的負担の軽減を図るため、医療費助成事業を実施。その後一人親・妊産婦等何度が改正があり、平成26年10月、県事業対象年齢拡大（小3→中3まで）小学生まで入院・外来。中学生は入院のみ助成。平成29年10月、市単独事業対象の年齢拡大（中3→高校3年相当まで）。平成30年10月、県事業対象年齢拡大、高校生まで入院のみ助成となった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
平成29年10月からの高校3年相当までの市単独事業年齢拡大に伴い、医療費の心配がなくなり安心した等の意見が寄せられた。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

現 状 維 持		評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	医療費の助成を行い経済的負担を軽減することで、受診の機会を促し、必要な時に安心して医療が受けられる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	県補助事業に対して実施する事業。 受診者に対し、医療費の自己負担金を助成し、疾病の早期発見や必要な時に安心して医療が受けられるようにする。市の取り組みに沿うものである。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	転入・出生・身体障害者等手帳取得者・障害年金1級取得者を把握するため、担当部署との連携を図っている。医療費助成事業の周知に努めている。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	受給者の自己負担が増え、経済的負担が大きくなる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	県補助事業に対して実施する事業、統廃合はできない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	茨城県の補助事業・市単独事業であり事業費は全額扶助費であり削減はできない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	安心して医療が受けられるという、医療費の助成事業であるため、受益者負担を求める余地はない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	年度途中の制度改正がなかったため、通常の更新業務を行った。郵送や窓口での交付にあたり、必要な書類の確認等を行った。今後も県の動向を注視していく。																								
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
⇒																										
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加					○			X	X	X			X	X	X
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
				○																						
		X	X	X																						
		X	X	X																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ①																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>